



+

交通事故抑止活動

◆◇◆ 飲酒運転根絶 ◆◇◆

飲酒運転による交通事故が後を絶ちません。アルコールには、理性や自制心を失わせたり、視力の低下、平衡感覚の鈍り等、私たちの身体に様々な影響を及ぼします。

安全指導のポイント

「少くなら飲酒運転をしても大丈夫」という甘い考えは取り返しのつかない事態を招きます。

飲酒の機会には、車や自転車など利用される方も見えるかと思いますが、**その際は、飲酒前に帰宅方法を決めておきましょう。**



ハンドルキーパー

お酒を飲まない
ハンドルキーパーを
決めておく。



帰宅時は運転代行
サービス等を
利用する。



自転車であれば
引いて帰る。



注意

飲酒運転は、運転している本人はもとより、周囲の家族の人生をも一瞬にして奪う、極めて危険で悪質な犯罪です。

飲酒運転は絶対に「しない・させない・許さない」と強い意思を持って、飲酒運転を根絶しましょう。